【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成28年11月11日

【四半期会計期間】 第36期第2四半期(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

【会社名】 株式会社フライングガーデン

【英訳名】 FLYING GARDEN CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 野沢 八千万 【本店の所在の場所】 栃木県小山市本郷町三丁目4番18号

【電話番号】 0285(30)4129(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役財務部長 片柳 紀之

【最寄りの連絡場所】 栃木県小山市本郷町三丁目4番18号

【電話番号】 0285(30)4129(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役財務部長 片柳 紀之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第35期 第 2 四半期 累計期間	第36期 第 2 四半期 累計期間	第35期
会計期間		自平成27年 4月1日 至平成27年 9月30日	自平成28年 4月1日 至平成28年 9月30日	自平成27年 4月1日 至平成28年 3月31日
売上高	(千円)	3,642,966	3,633,341	7,218,969
経常利益	(千円)	163,487	150,224	259,246
四半期(当期)純利益	(千円)	88,463	81,056	123,506
持分法を適用した場合の投資利益	(千円)	-	-	-
資本金	(千円)	579,900	579,900	579,900
発行済株式総数	(株)	1,449,168	1,449,168	1,449,168
純資産額	(千円)	1,208,008	1,280,744	1,243,051
総資産額	(千円)	3,186,233	3,022,975	3,176,749
1株当たり四半期(当期)純利益 金額	(円)	61.20	56.08	85.44
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	ı	ı	1
1株当たり配当額	(円)	-	-	30.00
自己資本比率	(%)	37.9	42.4	39.1
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	121,746	100,529	367,068
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	17,948	32,329	76,319
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	131,812	160,900	263,164
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	(千円)	262,026	224,925	317,625

回次	第35期 第 2 四半期 会計期間	第36期 第2四半期 会計期間
会計期間	自平成27年 7月1日 至平成27年 9月30日	自平成28年 7月1日 至平成28年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	44.59	42.49

- (注)1.当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 - 2. 売上高には、消費税等を含んでおりません。
 - 3.潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

EDINET提出書類 株式会社フライングガーデン(E03432) 四半期報告書

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。 また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであり、将来に関する事項には、不確実性を内在あるいは、リスクを含んでいるため、将来生じる実際の結果と大きく異なる可能性もあります。

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、中国経済の先行き不安やイギリスEU離脱問題などを発端に円高・株安傾向となり、さらに個人消費の低迷や企業の景況感の悪化につながったことから、先行きは不透明な状況となっております。

外食業界におきましては、原材料価格の上昇や人手不足を背景とした人件費の高騰に加え、消費者の節約志向が 強まるなど依然として経営環境は厳しい状況となっております。

このような環境下で、当社は計画的な改装の実施や季節のデザートメニューの投入を継続し、さらにメニューの 絞り込みを行うなど、品質の安定と向上に努めてまいりました。

店舗数につきましては、当第2四半期累計期間中に1店舗閉店しましたので、当第2四半期末の店舗数は62店舗となりました。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、既存店売上高が堅調に推移したことにより、売上高はほぼ前年と変わらず3,633,341千円(前年同期比0.3%減)となりました。利益面では光熱費の低減が引き続き寄与したものの人件費の増加を吸収しきれず、当第2四半期累計期間の営業利益は144,472千円(前年同期比10.3%減)、経常利益は150,224千円(前年同期比8.1%減)、四半期純利益は81,056千円(前年同期比8.4%減)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末と比べて 92,700千円減少し、224,925千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と それらの要因は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は100,529千円(前年同期比17.4%減)となりました。これは主に税引前四半期純利益141,880千円を計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における投資活動の結果、使用した資金は32,329千円(前年同期比80.1%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出67,891千円を計上したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における財務活動の結果、使用した資金は160,900千円(前年同期比22.1%増)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出117,200千円を計上したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対応すべき課題において重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5)主要な設備

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)	
普通株式	4,000,000	
計	4,000,000	

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現 在発行数(株) (平成28年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成28年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,449,168	同左	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注)
計	1,449,168	同左	-	-

- (注)完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
 - (2)【新株予約権等の状況】 該当事項はありません。
 - (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】 該当事項はありません。
 - (4)【ライツプランの内容】該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成28年7月1日~ 平成28年9月30日	-	1,449,168	-	579,900	-	496,182

(6)【大株主の状況】

平成28年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
野沢八千万	群馬県桐生市	416,390	28.73
有限会社アクティヴ	群馬県桐生市新宿 1 丁目11-8	120,960	8.35
野沢卓史	栃木県小山市	66,124	4.56
FG持株会	栃木県小山市本郷町3丁目4-18	63,316	4.37
野沢通子	群馬県桐生市	54,144	3.74
野沢良史	群馬県桐生市	51,724	3.57
須田忠雄	群馬県桐生市	31,844	2.20
株式会社足利銀行	栃木県宇都宮市桜4丁目1-25	28,800	1.99
綾羽静江	徳島県鳴門市	23,000	1.59
若杉精三郎	大分県別府市	16,000	1.10
計	-	872,302	60.19

(7)【議決権の状況】 【発行済株式】

平成28年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,700	-	権利内容に何ら限定の ない当社における標準 となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,428,900	14,289	同上
単元未満株式	普通株式 16,568	-	同上
発行済株式総数	1,449,168	-	-
総株主の議決権	-	14,289	-

【自己株式等】

平成28年9月30日現在

所有者の氏名又 は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株 式数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社フライング ガーデン	栃木県小山市本郷町 三丁目4番18号	3,700	-	3,700	0.26
計	-	3,700	-	3,700	0.26

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1.四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2.監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(平成28年7月1日から平成28年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)に係る四半期財務諸表について監査法人A&Aパートナーズによる四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年 3 月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	549,625	444,925
売掛金	47,303	42,455
商品及び製品	6,203	5,487
原材料及び貯蔵品	30,609	33,509
その他	127,741	127,007
流動資産合計	761,483	653,385
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,473,821	3,498,829
構築物	821,686	814,505
工具、器具及び備品	396,508	413,056
その他	567,812	554,993
減価償却累計額及び減損損失累計額	3,837,289	3,877,550
有形固定資産合計	1,422,540	1,403,834
無形固定資産	185,983	180,020
投資その他の資産		
差入保証金	383,591	369,633
その他	433,195	425,249
貸倒引当金	10,044	9,148
投資その他の資産合計	806,742	785,735
固定資産合計	2,415,266	2,369,590
資産合計	3,176,749	3,022,975
負債の部		
流動負債		
買掛金	220,687	187,659
1年内返済予定の長期借入金	224,420	201,056
未払金	295,871	281,702
未払法人税等	112,702	77,109
ポイント引当金	13,500	12,800
賞与引当金	51,754	55,200
その他	119,007	122,918
流動負債合計	1,037,943	938,446
固定負債		
長期借入金	454,545	360,709
退職給付引当金	110,107	112,258
役員退職慰労引当金	158,426	158,364
資産除去債務	125,010	126,265
その他	47,665	46,187
固定負債合計	895,754	803,784
負債合計	1,933,698	1,742,231

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年 3 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (平成28年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	579,900	579,900
資本剰余金	496,182	496,182
利益剰余金	172,636	210,328
自己株式	5,666	5,666
株主資本合計	1,243,051	1,280,744
純資産合計	1,243,051	1,280,744
負債純資産合計	3,176,749	3,022,975

(2)【四半期損益計算書】 【第2四半期累計期間】

(単位:千円)

		(112:113)
	前第 2 四半期累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)
売上高	3,642,966	3,633,341
売上原価	1,210,730	1,194,379
売上総利益	2,432,235	2,438,962
販売費及び一般管理費	2,271,231	2,294,489
営業利益	161,003	144,472
営業外収益		
受取利息	1,151	895
受取賃貸料	23,871	23,931
その他	4,469	5,358
営業外収益合計	29,491	30,185
営業外費用		
支払利息	5,239	3,522
賃貸収入原価	18,655	18,535
その他	3,112	2,375
営業外費用合計	27,008	24,433
経常利益	163,487	150,224
特別損失		
固定資産売却損		8,343
特別損失合計		8,343
税引前四半期純利益	163,487	141,880
法人税、住民税及び事業税	68,334	51,545
法人税等調整額	6,689	9,278
法人税等合計	75,023	60,823
四半期純利益	88,463	81,056
		·

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

		(単位:千円)
	间第2四十期系訂期间 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	3年2四十期系計期间 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	163,487	141,880
減価償却費	85,812	87,747
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,813	896
ポイント引当金の増減額(は減少)	-	700
賞与引当金の増減額(は減少)	4,517	3,446
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,663	62
退職給付引当金の増減額(は減少)	47	2,15
受取利息及び受取配当金	1,151	895
支払利息	5,239	3,522
固定資産売却損益(は益)	-	8,343
売上債権の増減額(は増加)	7,405	4,84
たな卸資産の増減額(は増加)	3,184	2,183
仕入債務の増減額(は減少)	33,157	33,028
未払金の増減額(は減少)	6,493	26,103
未払費用の増減額(は減少)	1,093	1,127
未払消費税等の増減額(は減少)	69,224	4,213
その他	13,857	13,356
小計	148,340	196,08
利息及び配当金の受取額	17	16
利息の支払額	4,865	3,226
法人税等の支払額	21,746	92,345
営業活動によるキャッシュ・フロー	121,746	100,529
投資活動によるキャッシュ・フロー		,-
定期預金の預入による支出	106,000	106,000
定期預金の払戻による収入	118,000	118,000
有形固定資産の取得による支出	47,655	67,89
有形固定資産の売却による収入	-	10,53
無形固定資産の取得による支出	-	1,012
差入保証金の差入による支出	31	2,568
差入保証金の回収による収入	17,305	17,79
その他	433	1,18
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,948	32,329
財務活動によるキャッシュ・フロー	,010	02,02
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000	
長期借入れによる収入	150,000	
長期借入金の返済による支出	138,059	117,200
リース債務の返済による支出	562	363
自己株式の取得による支出	37	300
配当金の支払額	43,153	43,336
記当並の文仏領 財務活動によるキャッシュ・フロー		160,900
	131,812	
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	28,013	92,700
現金及び現金同等物の期首残高	290,040	317,625
現金及び現金同等物の四半期末残高	262,026	224,925

【注記事項】

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主な内訳

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)
消耗品費	124,735千円	134,234千円
給料・賞与	349,152	353,180
賞与引当金繰入額	33,575	54,341
雑給与	730,666	753,742
役員退職慰労引当金繰入額	1,663	1,995
退職給付費用	3,369	3,468
地代家賃	264,705	256,000
水道光熱費	239,345	195,107
減価償却費	70,068	73,507

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
現金及び預金勘定	482,027千円	444,925千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	220,000	220,000
現金及び現金同等物	262,026	224,925

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) 配当金支払額

(決議)	 株式の種類 	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月25日 定時株主総会	普通株式	43,365	30.0	平成27年3月31日	平成27年 6 月26日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月23日 定時株主総会	普通株式	43,364	30.0	平成28年3月31日	平成28年 6 月24日	利益剰余金

(金融商品関係)

当第2四半期会計期間末において、金融商品の四半期貸借対照表計上額その他の金額に前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められませんので、記載を省略しております。

(有価証券関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ファミリーレストラン事業の単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	61円20銭	56円08銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	88,463	81,056
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	88,463	81,056
普通株式の期中平均株式数(株)	1,445,491	1,445,468

⁽注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

EDINET提出書類 株式会社フライングガーデン(E03432) 四半期報告書

第二部【提出会社の保証会社等の情報】 該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年11月4日

株式会社フライングガーデン 取締役会 御中

監査法人A&Aパートナーズ

指 定 社 員 公認会計士 加賀美 弘 明 印業務執行社員 公認会計士 加賀美 弘 明 印

指 定 社 員 公認会計士 岡 賢 治 印 業務執行社員 公認会計士 岡 賢 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フライングガーデンの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第36期事業年度の第2四半期会計期間(平成28年7月1日から平成28年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を 作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に 表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フライングガーデンの平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1.上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社 (四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
 - 2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。